

令和3年10月8日
九州地方整備局「令和4年度 発注者支援業務等の発注における技術
提案評価テーマ（留意点）」の事前公表について

翌年4月から履行を開始する発注者支援業務等（発注者支援業務、公物管理補助業務、用地補償総合技術業務）の発注手続き期間は、土木コンサルタント等業界の繁忙期と重なっており、中でも入札公告から技術提案書提出までは、年末年始を跨ぐ期間となります。

これらの状況を踏まえ九州地方整備局では、下記のとおり、令和4年度発注者支援業務等の技術提案評価テーマ（留意点）を事前に公表して技術提案書の検討期間を拡大し、各社の入札参加意欲の向上による競争性の確保、技術提案内容のさらなる充実化及び各社の負担軽減を図ります。

記

1. 対象業務

令和4年4月に履行を開始する九州地方整備局発注の以下の業務（港湾空港関係業務を除く）

- 発注者支援業務【積算技術、工事監督支援、技術審査】
- 公物管理補助業務【道路許認可審査・適正化指導、河川巡視、河川許認可審査、ダム管理、堰・排水機場管理】

2. 技術提案評価テーマ（留意点） 別添一覧表のとおり

【問い合わせ先】

九州地方整備局 代表電話番号：092-471-6331
直通電話番号：092-476-3546

九州地方整備局 企画部 技術開発調整官 カゲ 鹿毛 ヒデキ 英樹（内線：3120）
技術管理課長 カイ 甲斐 ヒロキ 浩幸（内線：3311）
技術管理課 課長補佐 ナカシマ 中島 フシ 大（内線：3314）

令和4年度 発注者支援業務等の技術提案評価テーマ(留意点)

業務種別	R4年度	
	評価テーマ(留意点)	判断基準
河川巡視支援業務	業務対象河川の河川巡視における河道・施設の変状及び不法行為等の効果的・効率的な確認方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 河道・施設の変状や不法行為等を確認するための取り組み(組織体制(バックアップ体制)・人材育成等)について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
河川許認可審査支援業務	各種申請書等の審査にあたっての留意事項について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 法令に照らした審査事項が具体的に記載され、現地踏査の実施など具体的な提案がある場合に優位に評価する。
ダム管理支援業務	業務対象ダムの緊急時(洪水時、地震時等)における的確な業務の実施と体制確保における留意点	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅され、優れている場合に優位に評価する。 《実現性》 年間を通じた的確な業務実施のための具体の取り組み(実施内容、組織体制(バックアップ体制))について、提案内容に説得力がある場合に、優位に評価する。
排水機場管理支援業務 堰管理支援業務	出水時・災害時における設備トラブルなど緊急的な対応が求められる場合の対応方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 緊急的な対応が求められる場合の取り組み(組織体制(バックアップ体制)・人材育成等)について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
道路許認可審査・適正化指導業務	行政相談、原因者復旧等の外部対応を適切かつ円滑に行うための工夫について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 行政相談、原因者復旧等外部対応を適切かつ円滑に行うための工夫について、具体的に記載され、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
道路許認可審査・適正化指導業務 【特殊車両審査関係】	特殊車両通行許可申請の提出から許可までの事務手続きを迅速に処理するための組織的な対応策について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 事務手続きを迅速に処理するための組織的な対応策が具体的に記載され、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
積算技術業務	本業務の業務成果品の品質確保のための取り組みについて	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 本業務の業務成果品(工事発注図面、数量計算書、積算資料等)の品質確保のための取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
技術審査業務	審査ミス防止に向けた審査能力向上のための具体的な工夫及び体制について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 審査ミス防止に向けた審査能力向上のための具体的な工夫及び体制について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
工事監督支援業務 A ※	工事の施工状況を的確に把握し、発注者に迅速かつ正確に報告する上での留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 工事の施工状況を的確に把握し、発注者に迅速かつ正確に報告する上での留意点について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
工事監督支援業務 B ※	工事受注者と円滑な設計変更を行う上での本業務における留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 工事受注者と円滑な設計変更を行う上での本業務における留意点について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。

※工事監督支援業務については、発注者が入札公告時に2テーマの中から任意に設定する。